

たからみがきのまちづくり

松山には、自然や歴史、文化資源など、地域固有の魅力や資源が数多くあります。松山市では、こうした地域の「たから」を磨き上げて活かす“たからみがき”のまちづくりを市民の皆さんと一緒に進めています。

くつなしょう

「島びとが輝き、島の宝を未来につなぐ、笑顔になれる里の島」をめざして 忽那諸島

松山市の島しょ部は、9つの有人島（興居島、釣島、睦月島、野忽那島、中島、怒和島、津和地島、二神島、安居島）と多数の無人島で構成され、温暖な瀬戸内海の気候条件をいかした果樹農業や豊富な魚介類が生息する漁場での漁業、美しい瀬戸内海と大小様々な多島美が織りなす雄大な自然、悠久の歴史に育まれた島固有の誇れる伝統や文化など、魅力ある地域資源が数多く残っています。

忽那諸島では「里島の特性をいかした産業の振興や魅力の創出」「安全・安心な生活を守り、暮らしやすい里島を実現する」「時代の流れを捉えて挑戦し、里島に活力を生み出す」の3つの方針を掲げています。

島民や地域などと行政が協働し、島に住む人にとって暮らしやすい島となるよう、また、島を訪れる人にとって「第二のふるさと」と思われるようなまちづくりを進めています。



忽那諸島（中島）



お試し移住施設「ハイムインゼルごしま」



ほしふるテラス姫ヶ浜



「高校生プレゼンツNakajima愛land CyclingTour」

みつはま

「『住んで訪れて楽しいまち三津浜』人と人が交流し港町の風情が息づくまち」をめざして 三津浜

三津浜地区は、江戸時代に松山藩の御船手組（船奉行所）が置かれた港町で、今も漁業や商業で栄えた面影が多く残っています。

三津浜地区では、「港町の歴史や文化を活用した魅力の創出」「多様な人が交流できる場をつくる」「住んでいる人の愛着や誇りの醸成」の3つの方針を掲げています。

古民家や蔵のある町並みを活用して移住や出店を促す「町家バンク」の運営や、ご当地グルメ「三津浜焼き」のブランド化、地域資源をいかしたイベントの開催など、地域住民が主体となって新たな賑わいづくりを行うことで、多様な人が「交流」し、住んで・訪れて楽しいまちづくりを進めています。



三津の渡し



三津の朝市「旬・鮮・味まつり」



ご当地グルメ「三津浜焼き」



三津浜にぎわい創出事務所 三津ハマル



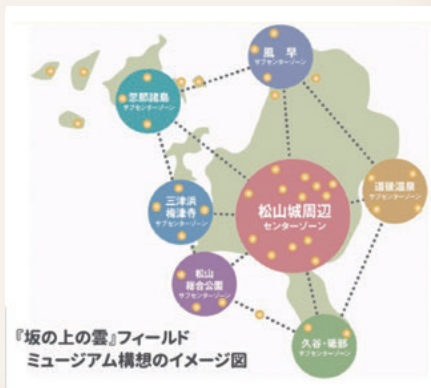
グローブのようなじいちゃんの手あったかい

“たからみがき”のまちづくり ～人のつながりで未来をつむぐ～

小説『坂の上の雲』ゆかりの場所や市内各地に点在している固有の地域資源を結び付け、市全体を「屋根のない博物館」に見立てて各地域をめぐる。そんな回遊性の高い、「物語」が感じられるまちをめざすのが『坂の上の雲』フィールドミュージアム構想です。

令和7年度にスタートした松山市地域振興構想でも、「既存の地域資源（＝たから）」を「最大限に活用し（＝みがき）」、ストーリー性をもってしっかりと未来に語り継いでいこうと、「たからみがき」のまちづくり ～人のつながりで未来をつむぐ～をテーマに掲げ、市内の全地域で、フィールドミュージアム構想の実現を目指すことにしています。

中でも、地域が「めざすまちの姿」の実現に向けて、目標や方針を定め、地域の個性や特徴をいかしたまちづくりに取り組んでいる4つの地域をご紹介します。



「豊かな自然や歴史文化が調和し、ここに
しかない幸せを感じられるまち」をめざして

かざはや
風 早

風早と呼ばれる北条地域は、中世伊予の豪族、河野氏繁栄の足跡が色濃く残る地域です。

風早地域では「多様な人々がつながることができる仕組みづくり」「豊かな自然など魅力ある地域資源を活用した新たな賑わいの創出」「地域の歴史や文化を継承し、活用する」の3つの方針を掲げています。

地域団体や学校、企業などとの連携や地域内外の交流を生み出すとともに、海・山・島などの自然豊かな魅力を生かしたイベントの開催、郷土料理「北条鯛めし」など地域に根差した食文化の普及、河野氏などの歴史や文化を活用した取り組みなど、地域住民が主体となってまちづくりを進めています。



鹿島公園渡船と鹿島



郷土料理「北条鯛めし」



「JR伊予北条駅前で行われている「かざはや楽市」

地域住民と協働で イベントを企画実施

地域住民の活性化の機運が高まり、JR伊予北条駅前通りでは、年2回「かざはや楽市」を自主開催しています。

「里山の風景のなか、人と人が語りあい
お接待の心が広がるまち」をめざして

くたに
久 谷

久谷地区は、四国遍路発祥にまつわる伝承が残るほか、国指定重要文化財の「渡部家住宅」や旧遍路宿「坂本屋」でのお接待など遍路文化が根付いた地域です。また、ホテル祭りなど自然豊かな里山の魅力や日本三大狸伝説ゆかりの地など、全国に通じるポテンシャルを秘めた地域資源を有しています。

久谷地区では「里山とともに守られてきた物語を未来につなぐ」「全国に通じる宝をいかした“久谷”のブランディング」「地域の特性をいかした交流の場づくり」の3つの方針を掲げています。

農作物や窪野の献上米など、食文化を通じたブランディング等により、久谷の魅力を情報発信、遍路文化や狸伝説ゆかりの地として里山とともに守られてきた地域の物語を未来につなぐなど、お接待の心が広がる「物語性」のあるまちづくりを進めています。



旧遍路宿「坂本屋」



山口霊神（狸伝説）



渡部家住宅



春と秋に渡部家住宅で行われているフェスタ